

第37回横浜マリノールカップ 女子Cゾーン決勝 8月7日(日)

久喜ミニバスケットボールクラブ 20 vs 53 川上北ブルーデビルス

1Q

久喜はオールコートマンツーマン、川上北はハーフコートマンツーマンでスタート。

久喜はトップのスクリーンプレーから果敢に攻めるも川上北のDFに阻まれ、シュートを決めきれず苦しい展開となる。対して川上北は#4のスピードあるドライブでDFを翻弄、#10との高さを活かした合わせでゴール下から確実に点を重ねる。6-12

2Q

久喜は#5#7#8のドライブやフリースローで得点を重ね、ねばり強さを見せるも川上北の速攻や#5#7#11を中心にゴール下で得点を重ね、その差を徐々に広げていく。14-31

3Q

DFは久喜オールコートマンツーマン、川上北ハーフコートマンツーマンを継続。

川上北は落ち着いたプレーと巧みなパスワークで試合展開を有利にする。

一方久喜はリバウンドやルーズボールで競り勝ち、反撃の機会を作ることに成功するも、途中アクシデントにより主力の#8を欠いてしまう。#5の外角からのシュートや#4のドライブで攻めるも川上北のDFを崩せず苦しい展開となった。18-41

4Q

川上北は時間を使ったゲームコントロールでチャンスを作り、外と中からリズム良く確実に得点を重ねていく。

久喜は#4#5#6を中心に最後まで諦めずに攻めの姿勢を貫き善戦するも終わってみれば20-53。

川上北が攻守共にその実力を見せつけた結果となった。

